

令和二年度
取組状況

ものづくり工学

一般科目

教授 永井 誠

	取組状況
教育	<p>(英語Ⅲ) 1. リーディング指導において「SV分析」活動を実施し、英語長文における「意味の骨組み」を理解させた。2. リーディング指導において「キーセンテンス把握」活動を実施し、文章としての要点を取るトレーニングを行った。3. TOEIC指導において「SVリスニング」活動を実施し、全文を聴くのではなくピンポイント的に必要情報を取るトレーニングを行った。</p> <p>(英語Ⅴ) 1. 前年度までに習得した「SV分析」の技能を、「SV構築」として英文ライティングにおいて活用する方法を指導した。2. 文章の段落構成の代表的4パターンを自由英作文において体験させた。</p> <p>(コミュニケーション英語Ⅱ) 1. TOEIC問題への対処法として、出題パターン毎の効果的対処パターンを練習させた。2. (「英語Ⅲ」同様)で「SVリスニング」活動を実施し、全文を聴くのではなくピンポイント的に必要情報を取るトレーニングを行った。</p>
研究	<p>1. 日本人学習者にとって最も習得困難な文法項目の一つである「仮定法」に関して、それに対する認知的アプローチを効果を実験によって検証した。一般的に「仮定法過去」「仮定法過去完了」の後に「その他の仮定法」として扱われる「wish構文」「as if構文」への認知的教授法の効果をまとめた論文を執筆済みで、次年度発表する。</p>
社会貢献	<p>1. 「英語教育新発想」というテーマを教員シーズ集に掲載し、技術相談に応じる体制を整えた。</p> <p>2. 「コミュニケーションのための英文法」というテーマを掲げ、出前・受け入れ授業に応じる体制を整えた。</p>